



「宇宙開発エレクトロニクス2020 勉強会」開催

- 開催日(予定)
2020年6月14日(日) 14:00~16:00
- 場所
CQ出版(東京・千石)

詳細はこちらまで



注▶コロナ感染の影響でスカイプ等でのオンライン開催になる可能性があります。本申し込みサイトの情報を確認のうえ参加ください。

特集 宇宙大実験! 人工衛星の製作

地球観測/通信からサイエンス/エンタメまで



© 創通・サンライズ

人類のための宇宙工学進化論



東京大学教授
中須賀 真一

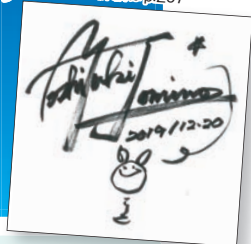
▲中須賀 真一(なかくさ しんいち)1961年、大阪府生まれ。東京大学工学部航空学科卒業、同大学院博士課程修了後、コンピュータ・メーカで人工知能を研究後、東京大学講師、助教授を経て、現在、東京大学大学院工学系研究科教授



「機動戦士ガンダム」総監督
富野 由悠季

▲富野 由悠季(とみの よしゆき)1941年、神奈川県生まれ。日本大学芸術学部映画学校卒業後、虫プロダクションに入社。退社後、1979年に「機動戦士ガンダム」の原作・総監督を務めた

読者プレゼントあり!
詳細はp.207



アニメ「機動戦士ガンダム」の原作者で、総監督の富野 由悠季氏と、東京大学の大学院工学系研究科 航空宇宙工学専攻航空宇宙システム学講座の中須賀 真一教授に「宇宙」を語っていただいた。

ご存知の方も多いと思うが、ガンダムとは有人操縦式の人型ロボット(モビルスーツ)である。劇中では宇宙での戦争の兵器として開発された。本作では宇宙コロニーや宇宙戦艦といった無重力空間で使用される施設や乗り物も登場する。

2020年現在では、ロケット/宇宙船の宇宙輸送サービス「スペースX」や、地上から約400km上空に建設された巨大な有人実験/観測施設「国際宇宙ステーション(ISS)」が現実のものとして存在し、実用化されている。そのほかにも民間宇宙ロケット「MOMO」や、人工衛星CubeSat(キューブサット)の開発と打ち上げが盛んにおこなわれており、いわば世界中で宇宙開発ブームが巻き起こっているのである。

長年にわたって宇宙を考え続けてきた両者の、思いもよらない会話の結末に、君は生き残ることができるか?

(編集部)

地球は今 ニュータイプを求めている

● 敵も味方もない世界

富野氏(以降T) ガンダムが始まったとき、戦争の局面で敵味方を考えた。敵味方にはお互いに正義があった。なおかつSFなんだから世界統治をするっていうふうに考えた。

世界統治をするときの障害は、宗教の派閥論だったり、民族論、寒冷化、温暖化、熱帯地方など地球の気候が一律でないために、それぞれのローカル論や宗教が生まれてくる。実を言うと気候は正義に影響してくると思っています。

宗教は本来、人の永遠の平和や心の安寧を願っているはずなのに、な

ぜこうまで派閥抗争に陥るのか?それを統治するのはどういうことなのか?と考えて作劇すると、理念論になってくる。理念を高く掲げると原理主義に陥るんです。結局、一番残酷なことをやるのは原理主義者である。

ガンダム・シリーズは、それを突破する人類・ニュータイプになって